



2020年11月発行
【創刊号】
be creative

むさしのエコreゾートで、「re活」を始めよう





エコreゾートとは…

「むさしのエコreゾート」は、旧クリーンセンターをリノベーションした環境啓発施設です。クリーンセンターの市民参加の歴史を継承し、様々な主体と一緒に考え、学び合いながら環境に配慮した行動をまち全体へと広げていくことを目指しています。地球温暖化を踏まえ、ごみをはじめ資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性など、環境について考え、学び、体験することができます。

re活とは…

身の回りの環境とのつながりを「再」発見し、環境にいいことをみんなで実践する活動です。まずは学生が考えた様々な「re活」をぜひお読みください。



就活、婚活、部活など、世の中には様々な活動があります。そこで、私たちは新しい活動を提案します! その名も「re活」! 環境の3Rを体感できる新しい活動です。私は、使わなくなったモノを楽器に変身させて、バンド活動してみたいです! 管理棟との間にある広い芝生の上で、音楽フェスを開催してみんなで盛り上がりよう!

「re活」で ガラクタの声を 聴こう



武蔵野の緑を残したい あそこにも、ここにも自然はあるんだよ
まずは探検に出かけよう

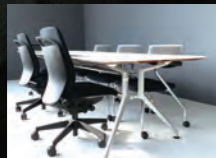


MUSASHINO eco reSort

ビルだらけの東京に、ポツンと緑の多い地域。それが武蔵野市だ。井の頭公園や小金井公園をはじめ、市内を歩いていると、あちらこちらに自然を見つけることができる。じっくり観察してみると、普段の生活では見過ごしてしまうような木や、草っ原の中に、実は珍しい生き物がいることに気が付く。そして、むさしのエコreゾートの施設もそんな自然の中にある。芝生に寝っ転がると空が一面に見え、目を瞑ると葉っぱの匂いと鳥のさえずりに囲まれ、とても気持ちが良い。まずは身の回りの自然と仲良くなること、それが環境を知る上での第一歩になるだろう。一緒に自然探しに出かけませんか?



世界環境会議 @むさしのエコreゾート

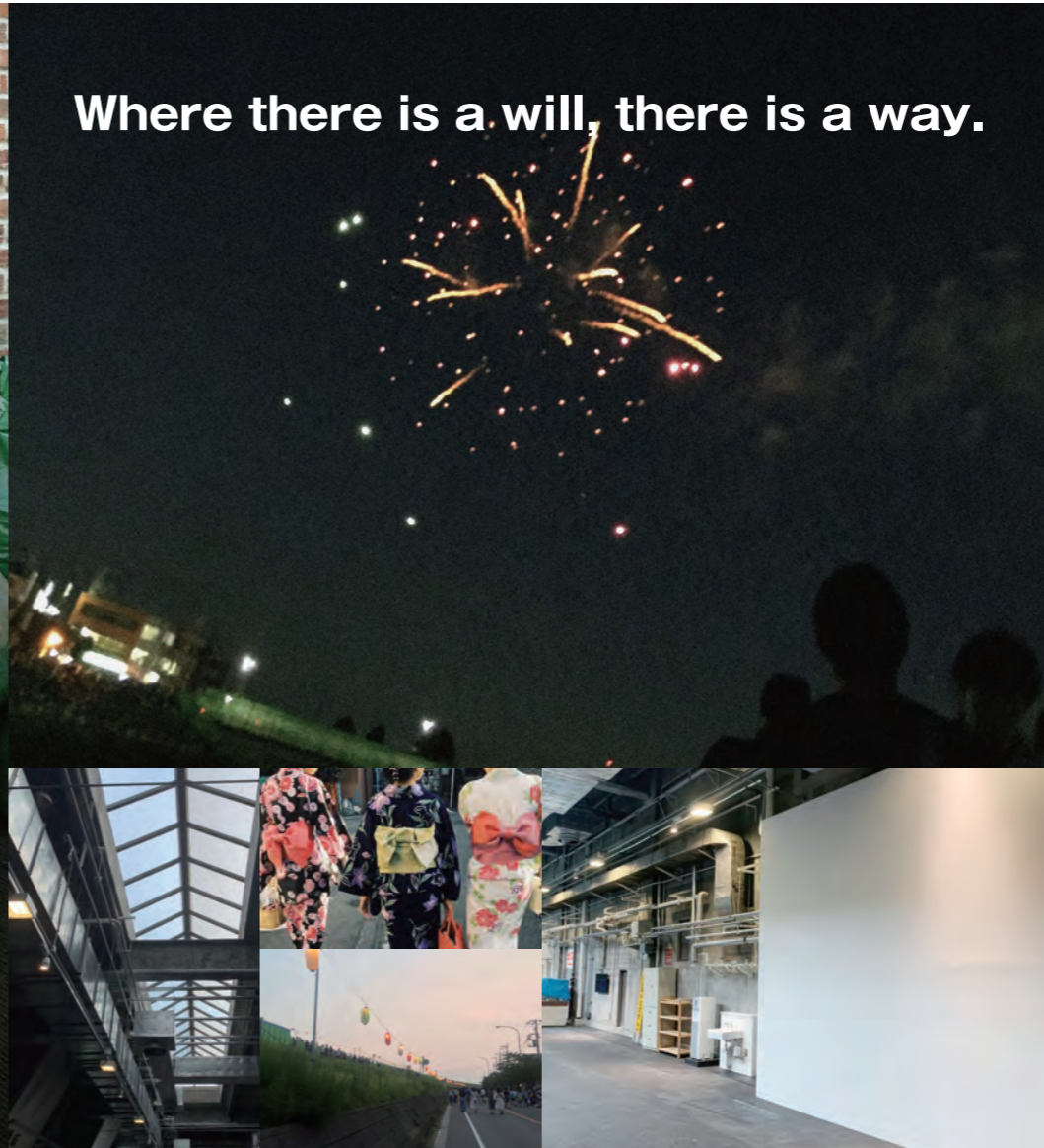


地球上で起こっている環境問題を世界中のみなんで話し合いませんか？

COVID-19で世界は大きく変わりました。そんな今だからこそ、
オンライン上で世界中のみなと繋がって、手を取り合って協力したい！

世界の仲間と、つぎの未来へ繋がる瞬間を、むさしのエコreゾートで体験しませんか？

Where there is a will, there is a way.

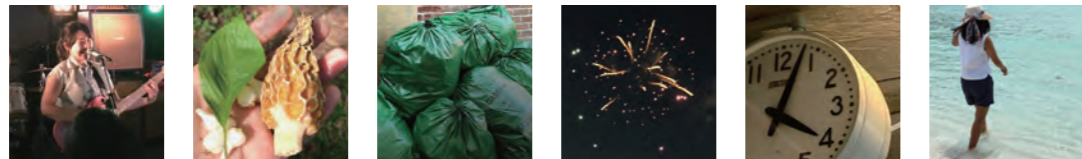


MUSASHINO eco reSort

夏の風物詩として挙げられることの多い
花火は、お祭りだけでなく祝いごとにも用い
られます。辺りを一際輝かせる花火は、人々の
目をあつという間に奪います。

しかし近年、地球温暖化の影響を受けた大雨で
花火大会が中止になり、歯がゆい思いをした人
も多いのではないのでしょうか。

そこで私からふたつ、提案があります。屋根で
覆われたむさしのエコreゾートで花火を打ち上
げる。そして、今の環境問題に目を向けること。
ここではその両方ができます。元ごみ処理施設
の広大な空間を利用し、プロジェクションマッピ
ングで花火を咲かせ、現在の環境問題について
考える。かつてごみ処理場だったこの場所で、
そんな体験をしてみませんか？



be creative



未来への可能性 私たちが今やりたいこと

ワークショップに参加してみよう…

学生の力を使って一つのモノを作りたいという想いで応募しました。Ecoreゾートのことをより多くの人に届けるために始まった、高校生・大学生を中心としたワークショップでは、PRの様々な事をプロに教えてもらいながら、みんなでたくさん話し合いました。学年関係なくいろんな意見が飛び交う場所はとても新鮮でした。(石川)

オンラインのワークショップに…

何回かワークショップを行い、グループに分かれて実際に動き出そう、という時に始まった新型コロナウイルス感染症。オンライン会議で月に一度集まり、デザインや内容について詰めていくことになりました。構成を考える上で、自分の思いを文章化することの難しさ、Ecoreゾートの可能性の広さを実感しました。(大岡)

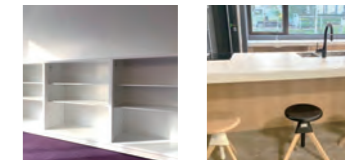
ワークショップを終えて…

大学生の目線でやりたい事を考えてみると、どれも環境と結びつけられることに気づきました。環境と私たちの生活は密接に関わっているものなのだ、改めて実感します。この場所で出来ることは無限大です。私たちがワークショップを通じて知った尽きることのない可能性を、ぜひ皆さんも見に来てください。(昆野)



「re活」を考えると むさしのEcoreゾートで

<https://musashino-ecoresort.com>



あなたもPRプロジェクトに参加してみませんか。
参加メンバー募集中!



利用案内

むさしのEcoreゾート

開館時間：午前9時30分から午後5時まで

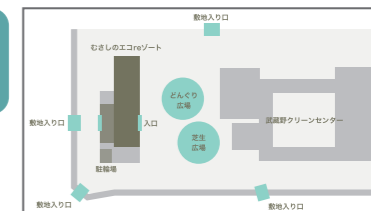
休館日：火曜、祝日(月曜が祝日の場合は月曜開館、水曜休館)、年末年始

所在地：〒180-0012 武蔵野市緑町3丁目1番5号

電話：0422-60-1945

Mail: ecoresort@city.musashino.lg.jp

※体調がすぐれない方や混雑している時など、来館をお断りする場合があります。また、マスクの着用をお願いします。



●発行／武蔵野市 ●制作／環境の学校PRプロジェクト 石川優花・大岡亜樹・昆野千咲 ●お問い合わせ先／武蔵野市環境部環境政策課(問い合わせ先は利用案内記載)

●この冊子は、環境の学校PRプロジェクトに参加する学生が中心となり企画・制作しました。

MUSASHINO eco reSort

4時3分。止まったままの時計は、ここがごみ処理場だった頃から、そしてエコゾーンに生まれ変わった今でもずっと、この空間を見守っています。

同じように、時の流れのなかで歳をかさねる私たち。今のことを忘れてしまふくらい大人になった頃に、どこか手にしたものから現在を思い出すことができれば、素敵だと思えます。

私は、むさしのエコゾーンで、何年経っても同じものを使い続けることができる、そんなリメイクの方法を学ぶワークショップを開催したいと思っています。



時計が止まっても、
時間は進み続ける。

以前訪れたマレーシアの海に十年後にもう一度遊びに行った際に、私はサンゴ礁がダメージを受けていることに衝撃を受けた。そしてその原因は地球温暖化やプラスチックごみ問題であると知り、解決に取り組みたいと強く思った。しかし、問題が大きすぎて何から手をつければ良いのかさっぱりだった。一方で、目線を変えたとおにぎりのラッピングが道に捨ててあったり、まだ着られる服がリサイクルされずに捨てられていたりすることに気が付く。実は身近なところに問題解決のヒントがあったのだ。一人が少し意識を持つて生活するだけで、最終的に環境をよくなることにつながる。私は、むさしのEcoResortでゴミ問題の啓発活動を行いたいと考えている。



あの時の
透き通った海と
綺麗な魚は
まだいるのかな
武蔵野の環境を
見つめ直そう
きっと、
繋がっているから